

HINO

REPORT

2017年4月1日から2017年9月30日まで



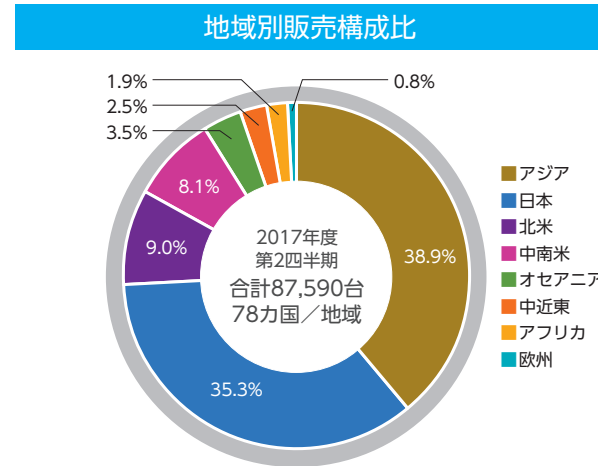
日野自動車株式会社

証券コード 7205

今年度の上期につきましては、グローバル販売台数は、日本、海外ともに前年比増となり、上期として過去最高を記録しました。国内市場は引き続き堅調に推移し、上期として2006年以来の10万台超えとなり、日野の販売は30,930台という結果でした。海外市場でも、アジアや北米等での販売が好調で前年を上回りました。損益面では、連結売上高は8,500億円、営業利益は349億円、純利益は230億円となりました。

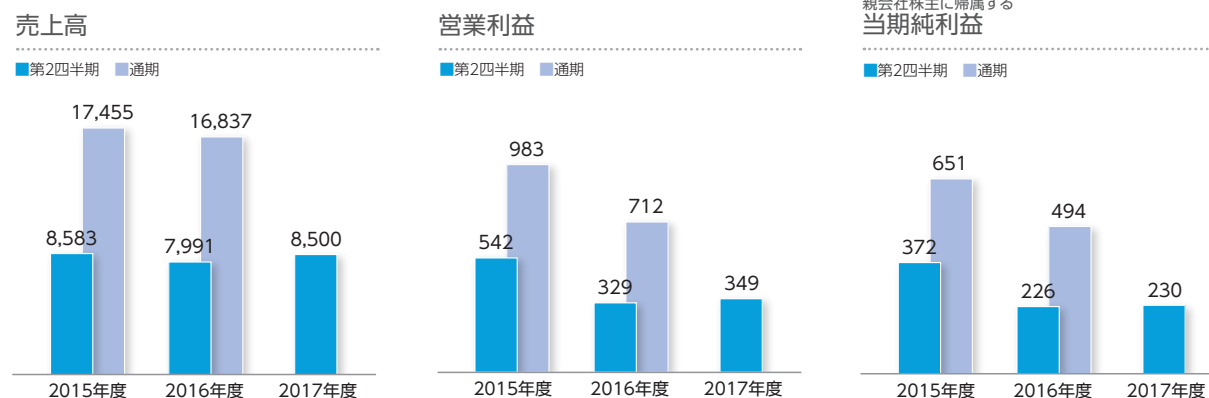
下期の見通しにつきましては、国内市場は引き続き底堅く推移し、海外市場においても、当社の主力市場であるインドネシアを中心にアジア市場が堅調に推移することが見込まれます。

通期の業績予想としましては、足元の国内外の市場動向や為替動向等を踏まえて販売台数等を見直し、売上高を上方修正いたしました。各利益については本年4月に公表いたしました予想を据え置くこととした



しました。古河工場への移転、国内向け新型車の立ち上げは一段落したものの、足元ではまだまだやるべき課題を抱えています。将来の持続的な成長に向けて、全社一丸となってこれらの課題に取り組んでまいります。なお、中間配当につきましては、前回予想通り1株につき13円の配当を実施させていただきます。

業績の推移 (単位：億円)

代表取締役社長
最高経営責任者 下 義生

Q1：新社長として、株主の方々にメッセージを

社長の^{しも}下でございます。社長就任後、初めてのご挨拶となりますので、まず私の抱負を申し上げます。

日野は「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を会社の使命に掲げ、お客様のニーズに応える「良い商品」のご提供と、お客様のもとでトラック・バスがしっかり働き続けるための「トータルサポート」によって、お客様のビジネス、そして社会に貢献すべく尽力してまいりました。

近年、自動車業界は未だかつてない急激な変化を迎えております。この変化に対応していくためには、世界中の日野のメンバー一人ひとりが心をひとつにして取り組んでいかなければなりません。私は日野自動車の社長として、「社会への貢献」「仲間への思いやり」「自分の覚悟」の3つのキーワードで、**チームHINOをさらに強化**してまいります。

略歴

1981年	当社入社
2011年	当社 執行役員
2012年	当社 常務役員
2015年	当社 専務役員
2016年	トヨタ自動車 常務役員
2017年	当社 代表取締役社長 最高経営責任者

下社長に聞く

そして、世界中のチームHINO総勢3万2千人の先頭に立って、より良い社会、**より良い未来の実現に向けて、絶えず挑戦し、前に進んでまいります。**どうか株主の皆様におかれまして、このチームHINOの輪に加わっていただき、これまで以上のご支援を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

日野は今年創立75周年を迎えました。私は、25年後の創立100周年に向けて、株主の皆様のご支援を賜りながら、**「日野ブランド」をさらに価値あるものに磨き上げ、次の世代に引き継いでいきたい**と思っております。皆様とともに、未来に夢を持てる会社になれるようチャレンジしていく所存ですので、ご支援のほど重ねてお願い申し上げます。

Q2：現在の商用車業界を取り巻く環境をどう認識している？

いま、人や物の移動を取り巻く環境は大きく変化しています。CO₂排出による地球温暖化に加え、eコマースの拡大や高齢化に伴うドライバー不足や安全ニーズの高まり、過疎化による移動手段不足などを背景に、**トラック・バスに**

対する社会のニーズは多様化しています。日野は、社会や**お客様が求める価値を備えた「良い商品」**と、お客様の保有する車両の稼働率向上、物流の効率化を通じて**お客様のビジネスを支える「トータルサポート」を提供し続ける**ことが、持続的成長につながると考えています。さらには、「つながる」技術でお客様のトラック・バス一台一台を最適な状態で維持することをはじめ、ネットワークでお客様と社会を繋ぐといった新たなニーズに対応し、**「最高にカスタマイズされたトータルサポート」**を追求することにより、お客様の、そして社会の、様々な課題解決のお役に立ていけると信じています。

Q3：持続的成長のための方向性は？

「良い商品」への取り組みとして、多様なお客様のニーズに応える**市場適格商品の開発**を推進しています。それらをより早くお届けするために、モジュール化や生産体制の再構築といった**「ものづくり改革」**も進めています。

また、激しい社会の変化に対応していくためには、お客様とのさらなる関わり、**「トータルサ**

ポート」の強化が必要と考え、お客様の求める価値を提供し続け、ともに成長していくことを目指しています。

さらなる持続的成長のために、**小型トラックの強化**と、日本、アジアに次ぐ**米州を「第3の柱」**とすべく、事業活動を強化しています。

Q4：具体的な取り組みの進捗は？

本年9月、日野の「ものづくり改革」の象徴でもあり、大中型車両のマザー工場となる**古河工場が本格稼働**を開始しました。また、ユニットのマザー工場である新田工場では、昨年末より



9月に本格稼働を開始した古河工場

大型エンジンの生産を始めています。古河工場と新田工場は、これまでの日野工場で培ったノウハウとモジュール化を取り入れて、多品種少量の効率的な生産を実現した世界に誇れるトラック生産工場、ユニット生産工場を目指しています。

トータルサポートにおいては、お客様の利便性向上および整備効率向上のため、保有増が見込まれる小型トラックのお客様対応のレーン導入を含め、**販売会社の拠点新設、リニューアル**を毎年続けています。また、お客様の稼働支援のため、新型の大中型トラックには**ICTサービス機能を導入**し、適切な予防整備や省燃費運転をサポートしております。今後も、トータルサポートを充実させ、「日野ならではの」とお客様に思っていただけるように、より多くのお客様にスピーディで高品質なサービスを提供してまいります。

海外事業については、2019年初に**米国ウェストバージニアの新工場**が稼働を開始する予定です。同工場では、**中型トラックの高馬力モデル**を生産し、さらなる競争力の向上を図っていきます。また、**ロシアにも組立工場**を建設することを決めており、こちらも2019年に生産を開始する予定です。

Q5 EVシフトや自動運転など、先進技術関連の動きが活発だが、日野としての対応は？

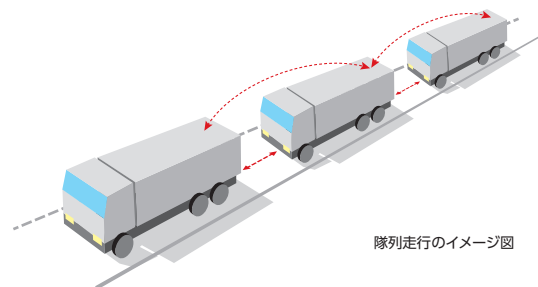
次世代車については、将来的にどのエネルギーが主流になっても対応できるよう、**長年の実績があるハイブリッド技術**をベースに、**プラグイン・ハイブリッド、電気自動車、燃料電池車などの技術開発を効率的に進めて**きています。電気自動車については、日野ポンチョをベースにした小型バス「**日野ポンチョEV**」が2012年より東京都墨田区と羽村市で、2013年より石川県小松市で路線バスとして営業運行中です。



日野ポンチョEV

自動運転については、その実現に向けて、路車間、車車間通信などの**ITS技術**や、自動

操舵、隊列走行といった**高度運転支援技術の研究開発**を着実に進めています。また、自動車専用道における**隊列走行**についても、いすゞ自動車と共同で技術開発をしながら、行政とともに近い将来の実証実験に向けて取り組んでいます。



隊列走行のイメージ図

これからの先進技術開発は、日野単独だけではなく、**トヨタグループや同業他社との連携**を強くし、想いを同じにするような仲間づくりを積極的に進めていき、実用化に向けて一緒に取り組んでいくことが重要だと考えています。

Q6 トラックやバスの事故が多発しているが、安全に対する取り組みは？

日野は、商用車メーカーとして、「**交通事故死傷者ゼロ**」の安全な社会に向けて、運行管理



から予防安全、衝突安全までをサポートする「**トータルセーフティ**」の**推進**と、**新技術の普及促進**に取り組んでいます。商品面では、ドライバーの疲労軽減、集中力維持、車両の挙動安定、衝突回避、被害軽減といった視点から、安全装備を開発・実用化しています。

2006年に世界で初めてトラック向けに商品化した**衝突被害軽減ブレーキ「PCS^{*}」**は、機能向上を重ね、歩行者検知にも対応した最新

型を本年発売した大型トラック「**日野プロフィア**」、中型トラック「**日野レンジャー**」、小型トラック「**日野デュトロ**」、そして大型観光バス「**日野セレガ**」に搭載しています。さらに、ドライバーモニターや車両ふらつき警報をはじめ、**多くの先進安全システムを実用化**しています。日野は、交通事故死傷者ゼロを目指して、今後とも安全技術の開発と普及に取り組んでまいります。

※ プリクラッシュセーフティ「PCS」はトヨタ自動車(株)の登録商標です。

Q7 これらの取り組みや成長を支える人材の育成についてはどう考える？

急激に変化する環境下で日野が生き残っていくためには、何よりも「**人材**」が重要だと思っています。競争力の源泉となり、日野の成長を担っていくのはチームHINOの一人ひとりです。**イノベティブな発想**で、**スピード感**を持ち、**他から学ぶ姿勢**を常に忘れない。そんな人材を育成していくため、**チームHINO全体で取り組み**、お客様の期待を上回る価値を提供し続けていきます。

以上

特集 --- 1 トラックはここまで進化した!

大型トラック「日野プロフィア」と中型トラック「日野レンジャー」がモデルチェンジ

デザインを一新、歩行者も検知する 衝突被害軽減ブレーキを標準装備

今回のモデルチェンジでは外観・内装を一新しました。「日野プロフィア」はシャシから刷新し、トラックとしての基本性能を大幅にアップ、「日野レンジャー」は「日野プロフィア」と同等の安全装備を標準装備して安全性能の大幅進化を実現しました。また、衝突被害軽減ブレーキ「PCS」は機能を向上させ、停止車両や歩行者も検知して衝突回避を支援します。エンジンのダウンサイジングで燃費向上や軽量化も実現。「ドライバーが誇りを持って、安心して乗れるトラック」になりました。



衝突被害軽減ブレーキ「PCS」
ミリ波レーダーと画像センサーで停止車両や歩行者も検知

新しくなったエクステリアとインテリア

エクステリアは、堂々とした存在感を主張しながら、空気抵抗の低減や、LEDヘッドランプの採用による夜間の視認性向上等の機能向上も実現。

インテリアは、新型シートによる乗り心地の向上、7インチの液晶を備えた大型で確認しやすいメーター、操作しやすいステアリングスイッチなど、ドライバーの快適性を重視しました。

日野プロフィア
力強くたくましい存在感を追求



日野レンジャー
街との調和を意識し、人々へのやさしさを考慮



新開発エンジンを採用

「日野プロフィア」には、新開発のダウンサイジング9Lエンジンを搭載、「日野レンジャー」にはダウンサイジング5Lエンジンを採用。新エンジンは2段過給や摩擦抵抗を軽減するディンプルライナー※などを採用し高効率を追求しました。さらにエンジンと排出ガス後処理装置の改良により、燃費を向上させながら排出ガスを一層クリーンにし平成28年排出ガス規制に適合させました。

※ ディンプルライナー：ピストン摺動部のシリンダーライナーにディンプル（窪み）を作ることで摩擦抵抗を低減。日本ピストンリング株式会社との共同開発です。



新型9Lエンジン (A09C型、8.866L)



新型5Lエンジン (A05C型、5.123L)

特集 --- 2 古河工場が本格稼働開始

日野は、生産供給体制のグローバルな最適化を進めており、国内において工程の再編・整流化を推進しています。その一環として進めてきた日野工場（東京都日野市）から古河工場（茨城県古河市）への車両生産工程の移転が完了し、本格稼働を開始しました。9月からは、大中型車両の全種類・全量を古河工場で生産しています。

古河工場は、これまでの日野工場で培ったノウハウと、モジュール化の考えを取り入れて、多品種少量を高効率につくりあげるトラック工場を目指しています。日野はこれからも、世界中のお客様により良い商品をより早く提供し続けるよう努めてまいります。



大中型トラックを混流生産



ラインオフ式典

column ● コラム

2017年度グッドデザイン賞を受賞

「日野プロフィア」と「日野レンジャー」が「2017年度グッドデザイン賞」を受賞しました。いずれもドライバー目線のデザイン性と機能性、そして物流を支える輸送機器としての高い安全性能や環境性能が評価されました。さらに日野プロフィアは、特に優れたデザインに贈られる「グッドデザイン金賞」にも選ばれています。

ニュース & トピックス 1

新ラインアップ商品

小型トラック、バスも改良し新発売

○ 小型トラック「日野デュトロ」

小型トラック「日野デュトロ」を改良して、5月に発売しました。今回の改良では、衝突被害軽減ブレーキ「PCS」などを標準装備し、安全装備が一層充実しました。また、車両総重量が7.5トンを超える車型についてはエンジンおよび排出ガス後処理装置の改良により平成28年排出ガス規制に適合させました。

○ バス

大型観光バス「日野セレガ」を改良し、衝突被害軽減ブレーキ「PCS」の機能を向上させるとともに、新たにAMT(機械式自動変速機)搭載車型を設定して7月に発売しました。また、中型バス「日野メルファ」を改良し、平成28年排出ガス規制に適合させるとともに、全車にAMTを搭載して7月に発売しました。8月には、大型路線バス「日野ブルーリボン ハイブリッド」、「日野ブルーリボン」、および中型路線バス「日野レインボー」を改良し、平成28年排出ガス規制に適合させ、発売しました。



小型トラック「日野デュトロ」



大型観光バス「日野セレガ」



中型バス「日野メルファ」



大型路線バス「日野ブルーリボン ハイブリッド」



大型路線バス「日野ブルーリボン」



中型路線バス「日野レインボー」

ニュース & トピックス 2

海外での取り組み

米国で生産の現地化を推進

米国において生産のさらなる現地化に向けた投資を決定しました。ウェストバージニア工場の近隣の工場を取得し、生産工程を集約して効率化を図るとともに、キャブも現地で生産します。新工場は2019年初より稼働を開始、新たに市場投入予定の中型トラックの高馬力モデルの生産も始めます。次のステップとして、現在日本で行っているキャブの生産を同工場へ移管します。重要市場である米国において、商品ラインアップ拡充と生産の現地化を通じて、さらなる競争力の向上を図ってまいります。

ミャンマーに正規販売代理店を設置

ミャンマーの自動車関連企業Summit SPA Motors, Ltd. (以下、SSM社) と正規販売代理店契約を締結。販売からアフターサービスまで一貫して対応できる体制を整え、ミャンマー市場に本格的に再参入しました。日野は、人々の暮らしを支えるトラック・バスの提供を通じて、ミャンマーの地域社会の発展に貢献してまいります。



ヤンゴン本店

ニュース & トピックス 3

レース・スポーツ活動

過酷な2つのレースで好成績を残す

7月に開催されたシルクウェイラリー2017(ロシア〜カザフスタン〜中国)で、日野レンジャー2号車で参戦した日野チームスガワらは、トラック部門総合12位でゴールしました。8月に開催されたラリーモンゴリア(ウランバートル発着)に参戦した日野レンジャー1号車は、14位でゴールしました。ラリーモンゴリアは、二輪・四輪・トラックの全台でタイムが争われ、俊敏な二輪や四輪を相手に、車高が高いトラックの優位性を発揮しました。



シルクウェイラリー2017

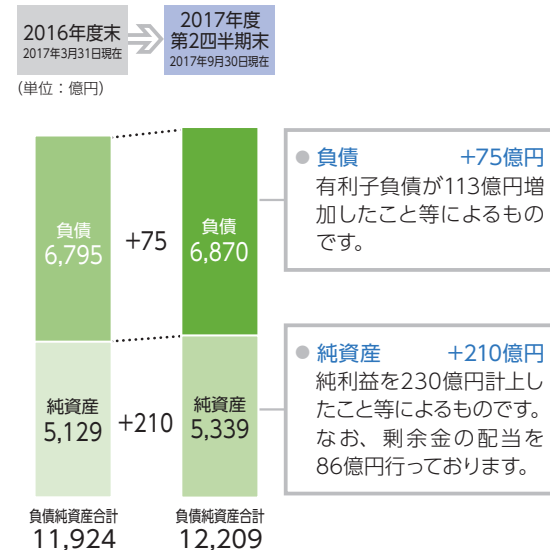
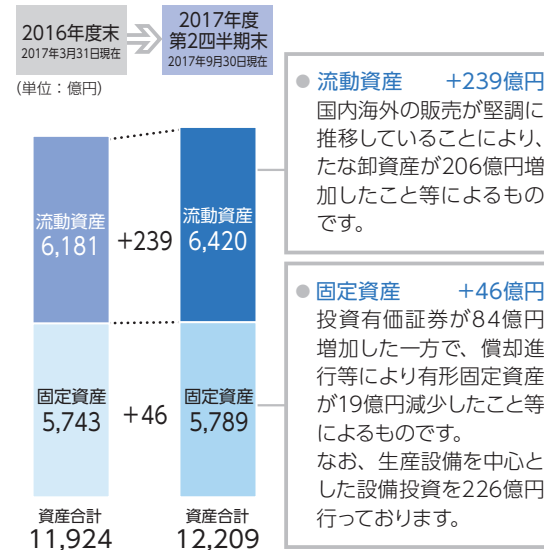
レッドドルフィンズただいま奮戦中



ジャパンラグビートップチャレンジリーグの2017-2018が開幕しました。日野自動車ラグビー部「レッドドルフィンズ」は開幕戦で快勝し、好調な滑り出しとなりました。悲願のトップリーグを目指し、リーグ戦に臨みます。



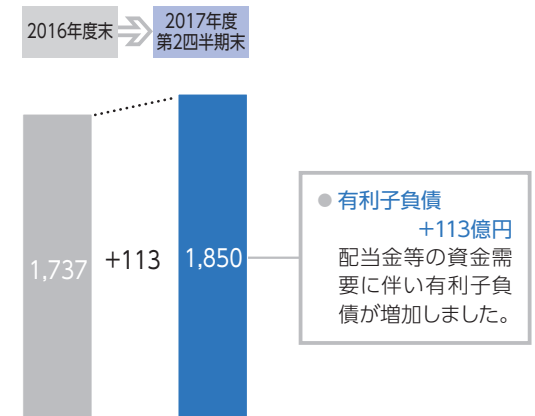
連結貸借対照表



有利子負債

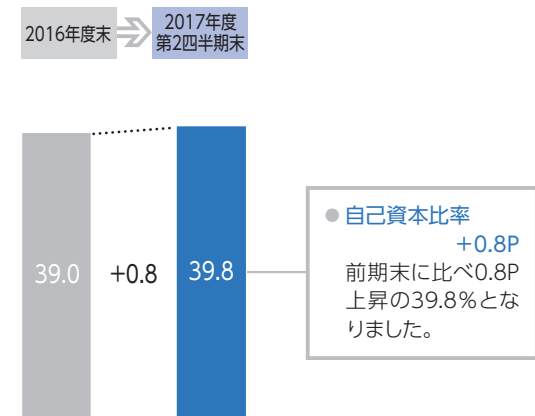
(単位：億円)

有利子負債とは、短期借入金、長期借入金およびコマーシャル・ペーパーを合計した金額です。



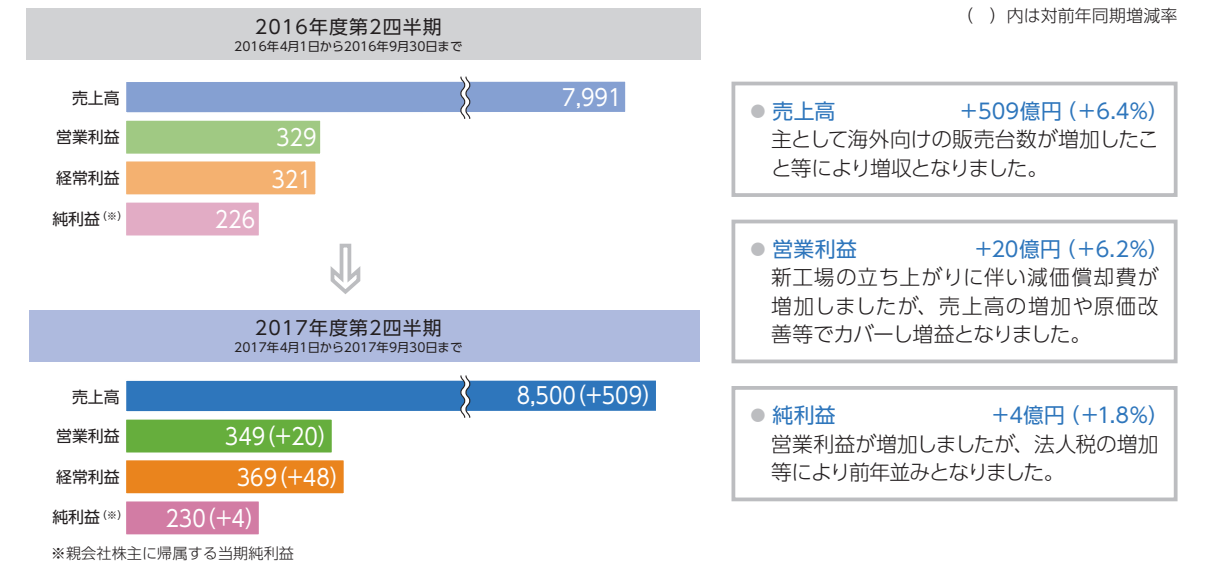
自己資本比率

(単位：%)



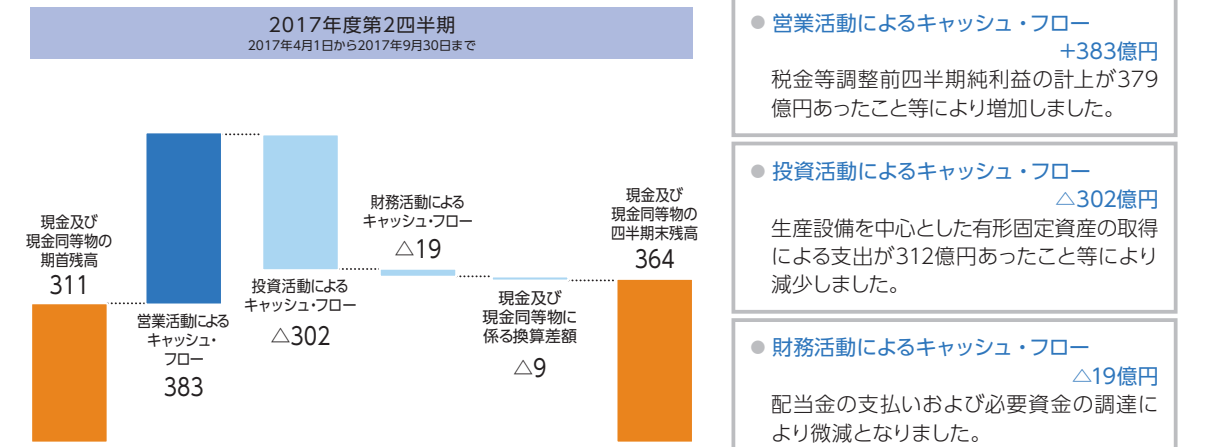
連結損益計算書

(単位：億円)



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)



会社概要／株式の状況 (2017年9月30日現在)

会社概要		
日野自動車株式会社 HINO MOTORS, LTD.		
創 業	1910年（明治43年）	
設 立	1942年（昭和17年）5月1日	
資 本 金	72,717,284,641円	
従 業 員 数	連結：32,555名 単独：12,620名	
主要な事業所 および工場	本社・日野工場 東京都日野市日野台3丁目1番地1 〒191-8660 電話（042）586-5111 羽村工場 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1 〒205-8660 電話（042）579-0411 新田工場 群馬県太田市新田早川町10番地1 〒370-0344 電話（0276）56-5111 古河工場 茨城県古河市名崎1番地 〒306-0110 電話（0280）67-3500 茨城テストコース 茨城県常陸大宮市長倉2023番地 〒311-4613 電話（0295）55-3122 北海道芽室テストコース 北海道河西郡芽室町雄馬別14線26番地1 〒082-0382 電話（0155）66-2511 日高配車センター 埼玉県日高市上鹿山689番地1 〒350-1234 電話（042）985-4747 青梅部品センター 東京都青梅市末広町1丁目5番1号 〒198-0025 電話（0428）32-9911	
ウェブサイト	http://www.hino.co.jp/	

取締役・監査役

代表取締役会長	市橋 保彦	取締役	萩原 敏孝 ^{*1}
代表取締役社長 最高経営責任者	下 義生	取締役	吉田 元一 ^{*1}
取締役 副社長	毛利 悟	取締役	寺師 茂樹
取締役 副社長	小梶 博	常勤監査役	前田 義秀
取締役 副社長	牟田 弘文	常勤監査役	山本 瑞穂
取締役・専務役員	遠藤 真	監査役	北村 敬子 ^{*2}
取締役・専務役員	梶川 宏	監査役	中島 正博 ^{*2}
取締役・専務役員	中根 健人		

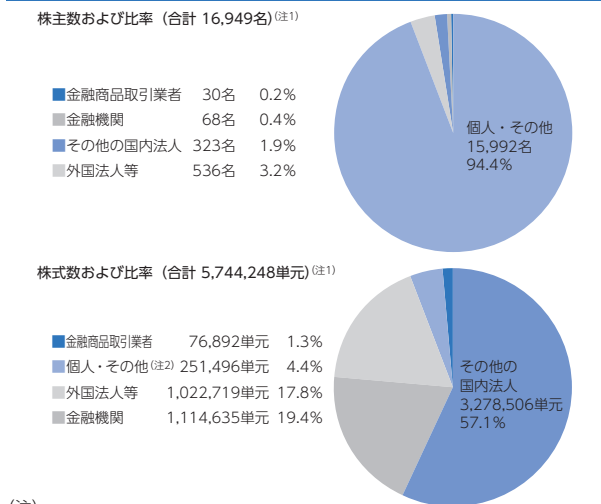
^{*1}社外取締役 ^{*2}社外監査役

株主の状況

発行済株式総数	574,580,850株		
株主数	18,198名（前期末比366名減）		
大株主			
株主名	持株数（千株）	持株比率（%）	
トヨタ自動車株式会社	287,897	50.17	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	40,032	6.98	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	24,100	4.20	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	5,389	0.94	
東京海上日動火災保険株式会社	4,884	0.85	
ビービーエイチ バンガード インターナショナル バリュエーション ファンド アルガ	4,623	0.81	
株式会社永坂産業	4,255	0.74	
日清紡ホールディングス株式会社	4,209	0.73	
株式会社デンソー	4,013	0.70	
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	3,982	0.69	

(注) 持株比率は自己株式(713千株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況



(注)

1. 上記株主数、株式数には、単元未満株主1,249名、単元未満株式156,050株は含まれておりません。

2. 「個人・その他」には、自己株式が7,137単元含まれております。

また、1.の単元未満株式には自己株式が73株含まれております。

株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 確 定 日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株式に関する手数料	単元未満株式買取手数料 無料
公 告 方 法	以下の当社ウェブサイトにて電子公告により行います。 http://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京、名古屋各証券取引所
証 券 コ ー ド	7205
1 単 元 の 株 式 数	100株

◆特別口座について

特別口座とは、株券電子化（2009年1月5日）の実施までに、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した口座です。

◆特別口座の留意事項

- ・特別口座に記録された株式を売却するには、株主様が証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行う必要があります。
- ※単元未満株式の買取請求は特別口座のままで可能です。当社の買取手数料は無料ですので、是非ご活用ください。
- ・特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式をお選びいただけません。

【(ご案内) 少額投資非課税制度口座 (NISA口座) における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である株式数比例配分方式をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき株式数比例配分方式をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間配当金の株主確定日までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

【株式に関するお手続きの窓口について】

◇特別口座に記録された株式

お手続、ご照会等の内容		お問い合わせ先
○特別口座から証券会社等の口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1* ☎0120-232-711（受付時間：土・日・祝祭日を除く平日9：00～17：00） （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	[手続書類のご請求方法] 上記電話およびインターネットにより承っております。 インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

◇証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容		お問い合わせ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1* ☎0120-232-711 (受付時間：土・日・祝祭日を除く平日9：00～17：00) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
○上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、2017年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

日野自動車株式会社

〒191-8660

東京都日野市日野台3丁目1番地1

電話 (042) 586-5111 (代表)

<http://www.hino.co.jp/>

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

